

子どもの転出入状況の分析

2020年10月9日（案）

今後の作業の進捗や精査により、数値が変動する可能性があります。

データ分析の概要

● 目的

子どもの移動（引っ越し）の状況から、子育てファミリー層の転入・転居・転出動向を把握し、取組検討の基礎とする。

● 分析データ

期間：2014～2019年度

対象：0～5歳児（各年度4月1日現在の年齢）

転入・転居・転出（住基データ）

移動データ数：6,867件（個人ベースでの重複あり）

※上記は外国との転出入（262件）を含まない移動データ数

データ分析の概要

●内容

移動（引っ越し）の全体状況の分析 (p 3~10)

大阪通勤圏内での転出入先の分析 (p 11~20)

18エリア別での転居・転出入先の分析 (p 21~32)

転居・転出入の統合分析（全体・5歳児） (p 33~42)



子どもの転出入状況の分析から見える課題 (p 43)

移動（引っ越し）の全体状況

(件)

年度	転居	転入	転出	合計	転出入差
2014	376	346	396	1,118	-50
2015	407	353	396	1,156	-43
2016	365	358	374	1,097	-16
2017	405	418	341	1,164	77
2018	448	354	322	1,124	32
2019	510	367	331	1,208	36
合計	2,511	2,196	2,160	6,867	36

子ども（0～5歳児）
の転出入



2017年度から
転入超過

転入の全体状況

(件)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2014	84	82	53	45	39	43	346
2015	99	77	67	45	36	29	353
2016	119	70	63	43	29	34	358
2017	130	90	76	42	40	40	418
2018	118	76	75	36	23	26	354
2019	129	68	55	51	27	37	367
合計	679	463	389	262	194	209	2,196
構成比	31%	21%	18%	12%	9%	10%	100%

子ども（0～5歳児）
の転入



0～2歳児で約7割

0歳児の転入が増加

2017年度から本市独自の
「幼児教育・保育の無償化」
を開始

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転入が少ない）を表しています。

転出の全体状況

(件)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2014	117	77	62	49	41	50	396
2015	98	88	69	49	36	56	396
2016	113	78	58	46	26	53	374
2017	90	70	55	41	28	57	341
2018	84	55	57	36	34	56	322
2019	85	68	53	46	37	42	331
合計	587	436	354	267	202	314	2,160
構成比	27%	20%	16%	12%	9%	15%	100%

子ども（0～6歳）
の転出



0～2歳児で約6割

0歳児の転出が減少

2017年度から本市独自の
「幼児教育・保育の無償化」
を開始

表中の「赤色」のセルは比較的大きな数値（転出が多い）、「緑色」のセルは比較的小さな数値（転出が少ない）を表しています。

転出入差の全体状況

(件)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2014	-33	5	-9	-4	-2	-7	-50
2015	1	-11	-2	-4	0	-27	-43
2016	6	-8	5	-3	3	-19	-16
2017	40	20	21	1	12	-17	77
2018	34	21	18	0	-11	-30	32
2019	44	0	2	5	-10	-5	36
合計	92	27	35	-5	-8	-105	36

子ども（0～5歳児）
の転出入差



0～2歳児で転入超過

5歳児の

転出超過が大きい

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入超過が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出超過が多い）を表しています。

守口市内での転居の全体状況

(件)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2014	72	58	45	61	56	84	376
2015	85	72	69	62	59	60	407
2016	88	68	52	65	56	36	365
2017	88	78	74	55	62	48	405
2018	101	82	80	56	60	69	448
2019	111	99	87	88	55	70	510
合計	545	457	407	387	348	367	2,511
(構成比)	22%	18%	16%	15%	14%	15%	100%

子ども（0～5歳児）
守口市内への転居



0～3歳児は増加

4～5歳児は
増えていない

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転居が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転居が少ない）を表しています。

守口市内での転居を選ぶ割合の全体状況

(件)

年度	移動件数			選択率		
	転居	転出 (大阪通 勤圏)	合計	転居	転出 (大阪通 勤圏)	合計
2014	376	307	683	55.1%	45%	100%
2015	407	293	700	58.1%	42%	100%
2016	365	288	653	55.9%	44%	100%
2017	405	247	652	62.1%	38%	100%
2018	448	245	693	64.6%	35%	100%
2019	510	255	765	66.7%	33%	100%
合計	2,511	1,635	4,146	60.6%	39%	100%
2017 ~2019	1,363	747	2,110	64.6%	35%	100%

**子ども（0～5歳児）
市内転居
or
大阪通勤圏への転出
の選択状況**



**市内転居の選択率
上昇傾向**

「再び守口」を選ぶ
割合が上昇

「大阪通勤圏」とは、大阪市へ鉄道を用いて概ね1時間で通勤できるエリア
(具体的な市町村名は12ページに掲載)

守口市内での転居を選ぶ割合（5歳児）

(件)

年度	移動件数			選択率		
	転居	転出 (大阪通 勤圏)	合計	転居	転出 (大阪通 勤圏)	合計
2014	84	38	122	68.9%	31%	100%
2015	60	41	101	59.4%	41%	100%
2016	36	44	80	45.0%	55%	100%
2017	48	44	92	52.2%	48%	100%
2018	69	45	114	60.5%	39%	100%
2019	70	36	106	66.0%	34%	100%
合計	367	248	615	59.7%	40%	100%
2017 ~2019	187	125	312	59.9%	40%	100%

子ども **(5歳児)**

市内転居

or

大阪通勤圏への転出
の選択状況



市内転居の選択率

上昇傾向

「再び守口」を選ぶ
割合が上昇

「大阪通勤圏」とは、大阪市へ鉄道を用いて概ね1時間で通勤できるエリア
(具体的な市町村名は12ページに掲載)

移動（引っ越し）の全体状況（まとめ）

子ども（0～5歳児） の転出入

2017年度から
転入超過

0歳児の転入 増加
0歳児の転出 減少
市内転居選択率
上昇傾向

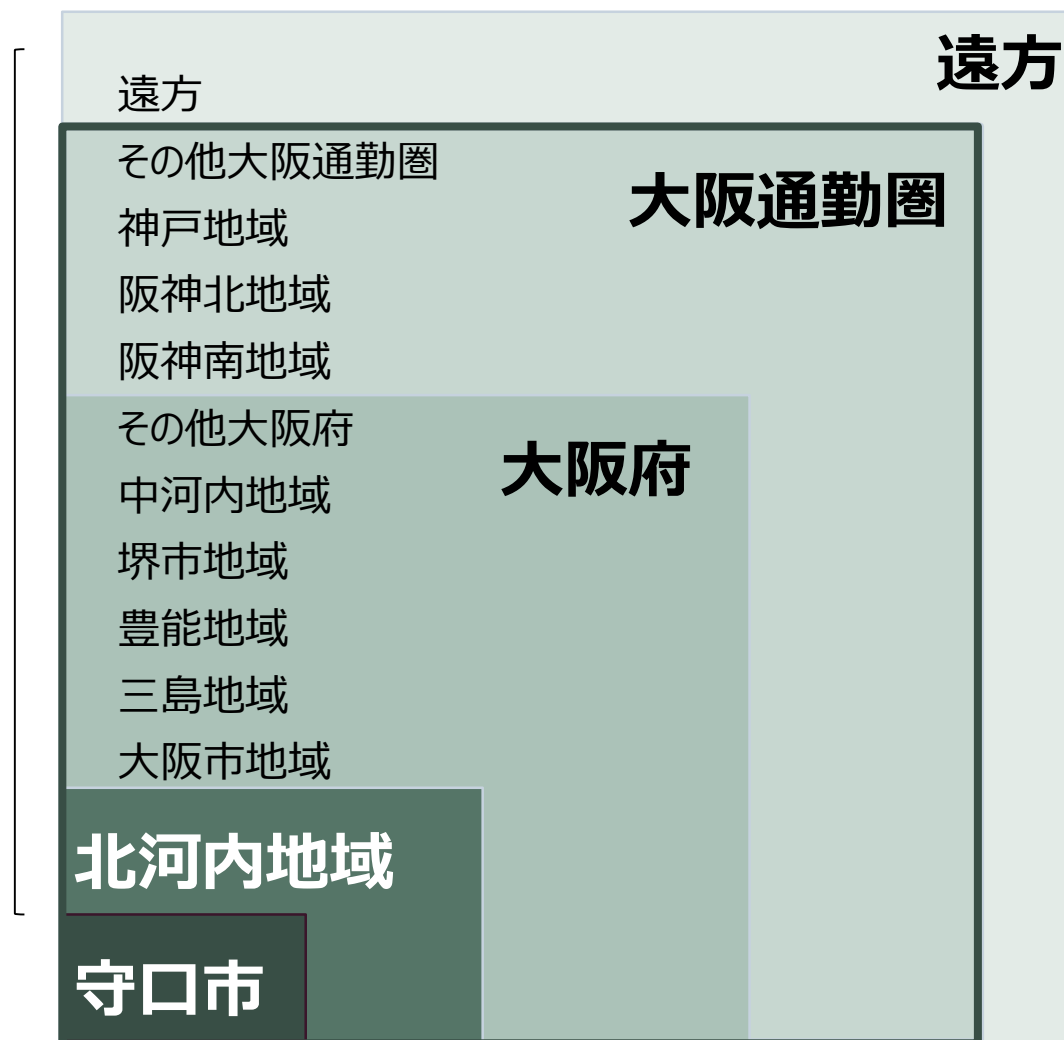
【参考】
2017年度
幼児教育・保育
の無償化開始

課題

5歳児の転出超過が大きい

転出入先の分析

12地域
に区分



転出入先分析 の視点



大阪通勤圏内での 転出入を分析

「大阪通勤圏」とは、
大阪市へ鉄道を用いて
概ね1時間で
通勤できるエリア
(具体的な市町村名は
12ページに掲載)

転出入先の分析

	地域区分	市町村	
1	北河内地域	枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市	
2	大阪市地域	大阪市	
3	三島地域	吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町	
4	豊能地域	豊中市、池田市、箕面市、豊能町	
5	堺市地域	堺市	
6	中河内地域	八尾市、柏原市、東大阪市	
7	その他大阪府	その他大阪府内市町村	
8	阪神南地域	尼崎市、西宮市、芦屋市	
9	阪神北地域	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	
10	神戸地域	神戸市	
11	その他大阪通勤圏	兵庫県	明石市、播磨町、加古川市、姫路市、篠山市
		京都府	亀岡市、大山崎町、長岡京市、向日市、京都市、八幡市、宇治市、宇治田原町、城陽市、京田辺市、精華町、木津川市
		滋賀県	大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市
		奈良市	奈良市、生駒市、大和郡山市、平群町、三郷町、王寺町、香芝市、斑鳩町、河合町、田原本町、大和高田市、橿原市、桜井市
		和歌山県	和歌山市、橋本市
	三重県	名張市	
12	遠方	上記のその他	

地域区分の内訳 (12区分)

守口市との
転出入実績のない
市町村は
記載していない

転入元の全体状況

子ども（0～5歳児）
大阪通勤圏からの転入元



北河内地域と大阪市地域で
約7割

(件)

年度	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	遠方	不明	合計
2014	74	130	16	5	5	10	4	3	2	7	14	70	6	346
2015	74	116	19	6	9	13	1	4	3	2	25	78	3	353
2016	95	106	20	4	5	12	10	6	3	5	17	66	9	358
2017	116	123	23	4	8	13	9	1	3	4	29	82	3	418
2018	100	126	17	5	5	8	4	10		5	15	54	5	354
2019	87	131	24	4	12	6	11	8		7	11	65	1	367
合計	546	732	119	28	44	62	39	32	11	30	111	415	27	2,196
構成比	25%	33%	5%	1%	2%	3%	2%	1%	1%	1%	5%	19%	1%	100%
合計 (大阪通勤圏)	546	732	119	28	44	62	39	32	11	30	111			1,754
構成比	31%	42%	7%	2%	3%	4%	2%	2%	1%	2%	6%			100%

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転入が少ない）を表しています。

転出先の全体状況

子ども（0～5歳児）
大阪通勤内の転出先



北河内地域と大阪市地域で
約6割

(件)

年度	北河内 地域	大阪市 地域	三島 地域	豊能 地域	堺市 地域	中河内 地域	その他 大阪府	阪神南 地域	阪神北 地域	神戸 地域	その他 大阪 通勤圏	遠方	不明	合計
2014	108	77	28	18	8	6	10	9	11	4	28	89		396
2015	100	76	29	16	5	9	12	3	3	9	31	103		396
2016	107	63	25	19	5	11	9	7	6	5	31	86		374
2017	70	59	27	17	3	10	14	9	4	2	32	94		341
2018	76	71	13	21	2	18	16	3		4	21	77		322
2019	86	64	24	19	2	11	8	6	3	1	31	76		331
合計	547	410	146	110	25	65	69	37	27	25	174	525		2,160
(構成比)	25%	19%	7%	5%	1%	3%	3%	2%	1%	1%	8%	24%	0%	100%
合計 (大阪通勤圏)	547	410	146	110	25	65	69	37	27	25	174			1,635
(構成比)	33%	25%	9%	7%	2%	4%	4%	2%	2%	2%	11%			100%

表中の「赤色」のセルは比較的大きな数値（転出が多い）、「緑色」のセルは比較的小さな数値（転出が少ない）を表しています。

転出入差の全体状況

子ども（0～5歳児）
大阪通勤圏での
転出入差

2017年度以降
北河内地域
大阪市地域
豊能地域

転入超過に転じる
転入超過に転じる
転入超過が大きい
毎年転出超過

年度	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	遠方	不明	合計	合計（大阪通勤圏）
2014	-34	53	-12	-13	-3	4	-6	-6	-9	3	-14	-19	6	-50	-37
2015	-26	40	-10	-10	4	4	-11	1	0	-7	-6	-25	3	-43	-21
2016	-12	43	-5	-15	0	1	1	-1	-3	0	-14	-20	9	-16	-5
2017	46	64	-4	-13	5	3	-5	-8	-1	2	-3	-12	3	77	86
2018	24	55	4	-16	3	-10	-12	7	0	1	-6	-23	5	32	50
2019	1	67	0	-15	10	-5	3	2	-3	6	-20	-11	1	36	46
合計	-1	322	-27	-82	19	-3	-30	-5	-16	5	-63	-110	27	36	119

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入超過が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出超過が多い）を表しています。

転出入差の全体状況

子どもの転出入差
(2014~2019)



0~2歳児
5歳児

大阪市から大きな転入超過
多くの地域で転出超過

(件)

移動年齢	北河内 地域	大阪市 地域	三島 地域	豊能 地域	堺市 地域	中河内 地域	その他 大阪府	阪神南 地域	阪神北 地域	神戸 地域	その他 大阪 通勤圏	遠方	不明	合計
0歳児	25	130	-7	-10	4	-3	-13	3	-8	1	-19	-16	5	92
1歳児	14	83	2	-23	3	-4	-6	-3	3	-2	-13	-35	8	27
2歳児	0	74	-13	-15	5	3	-5	-2	-3	3	-5	-13	6	35
3歳児	-1	23	4	-7	2	2	-4	-5	-2	4	-9	-16	4	-5
4歳児	-7	25	1	-9	2	4	-2	-2	-2	-2	-7	-10	1	-8
5歳児	-32	-13	-14	-18	3	-5	0	4	-4	1	-10	-20	3	-105
合計	-1	322	-27	-82	19	-3	-30	-5	-16	5	-63	-110	27	36
合計 (大阪通勤圏)	-1	322	-27	-82	19	-3	-30	-5	-16	5	-63			119

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入超過が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出超過が多い）を表しています。

転出入差の全体状況（5歳児）

5歳児の転出入差 (2014~2019)



北河内地域、大阪市地域、三島地域、
豊能地域で**77人の転出超過**

(件)

年度	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	遠方	不明	合計
2014	-4	3	-4	-1	1	1	-1	0	-1	0	-3	2	0	-7
2015	-6	-4	-3	0	-1	0	-1	2	0	-2	-3	-9	0	-27
2016	-12	-4	-3	-2	0	2	1	0	-2	1	2	-4	2	-19
2017	2	0	0	-6	1	-2	-1	-1	-1	0	-3	-7	1	-17
2018	-12	-4	-2	-4	0	-4	-1	1	0	1	-1	-4	0	-30
2019	0	-4	-2	-5	2	-2	3	2	0	1	-2	2	0	-5
合計	-32	-13	-14	-18	3	-5	0	4	-4	1	-10	-20	3	-105
合計 (大阪通勤圏)	-32	-13	-14	-18	3	-5	0	4	-4	1	-10			-88

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入超過が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出超過が多い）を表しています。

転出入先の全体状況（まとめ）

子ども（0～5歳児） 大阪通勤圏での転出入

2017年度から
転入超過

北河内地域
大阪市地域

転入超過に転じる
0～2歳の転入超過
が大きい

課題

5歳児 **多くの地域で転出超過**

（北河内地域、大阪市地域、三島地域、
豊能地域で**77人の5歳児転出超過**）

豊能地域 **転出超過**（毎年、全年齢）

(参考) 転入者数の多い自治体

子ども（0～5歳児）
転入元の自治体
（2014～2019）



上位10自治体で、
転入元の約6割を占める

(件)

	市区町村	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	累計比率
1位	門真市	95	64	42	32	22	27	282	16%
2位	大阪市旭区	68	35	29	26	17	17	192	27%
3位	寝屋川市	51	35	29	21	19	18	173	37%
4位	大阪市鶴見区	30	26	17	15	8	10	106	43%
5位	大阪市東淀川区	23	22	17	7	8	5	82	48%
6位	大阪市城東区	21	13	12	8	7	9	70	52%
7位	東大阪市	14	12	9	2	6	4	47	54%
8位	堺市	11	8	9	6	4	6	44	57%
9位	摂津市	15	11	6	4	5	2	43	59%
10位	枚方市	15	7	6	4	5	5	42	62%

(参考) 転出者数の多い自治体

子ども（0～5歳児）
転出先の自治体
（2014～2019）



上位10自治体で、
転出先の約5割を占める

（件）

	市区町村	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	累計比率
1位	門真市	50	38	22	25	21	35	191	12%
2位	寝屋川市	47	30	29	23	17	21	167	22%
3位	枚方市	28	22	19	11	11	17	108	29%
4位	大阪市旭区	21	14	8	13	6	16	78	33%
5位	豊中市	14	17	10	5	4	10	60	37%
6位	吹田市	19	12	11	5	1	11	59	41%
6位	大阪市城東区	17	13	10	6	4	9	59	44%
8位	大阪市鶴見区	15	11	10	7	4	6	53	47%
9位	東大阪市	10	12	5	4		10	41	50%
10位	京都市	15	4	5	6	2	7	39	52%

市内転居の分析

東部地域	佐太小、金田小、よつば小、藤田小、梶小、庭窪小
中部地域	八雲小、八雲東小、下島小、守口小、 守口小／さつき学園 、 守口小／太子橋小／さつき学園
南部地域	さつき学園、 さつき学園／太子橋小 、 さくら小 、 さくら小／寺方南小 、寺方南小、錦小

市内転居分析 の視点



3地域を基本として 転居を分析

必要に応じて、18エリアで分析
(通学する小学校を複数校
から選択できるエリアが
4つあり、18エリアを設定)
(左表の**茶色**文字)

転居・転入（大阪通勤圏）の引っ越し先

2014~2019年度		前住地					
		転居	転居			転入（大阪通勤圏）	合計
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居後	東部地域	904	801	73	30	676	1,580
	中部地域	736	87	539	110	445	1,181
	南部地域	871	62	124	685	633	1,504
	合計	2,511	950	736	825	1,754	4,265

どこから引っ越してきたか		前住地					
		転居	転居			転入（大阪通勤圏）	合計
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居後	東部地域	57	51	5	2	43	100
	中部地域	62	7	46	9	38	100
	南部地域	58	4	8	46	42	100
	合計	59	22	17	19	41	100

3地域のどこへ引っ越したか		前住地					
		転居	転居			転入（大阪通勤圏）	合計
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居後	東部地域	36	84	10	4	39	37
	中部地域	29	9	73	13	25	28
	南部地域	35	7	17	83	36	35
	合計	100	100	100	100	100	100

どこから引っ越してきたか



5割：同じ地域
1割：その他市内
4割：市外

市外からは、3地域のどこへ引っ越したか



東部地域：39%
中部地域：25%
南部地域：36%

転居・転入（大阪通勤圏）の引っ越し先

市外からの転入先
(2014~2019)



北河内、三島 東部への移動が多い
大阪市 南部への移動が多い

		前住地（転居）				前住地（転入(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転入(大阪通勤圏)	
転居後	東部地域	801	73	30	904	305	180	57	11	16	20	19	12	3	11	42	676	1,580
	中部地域	87	539	110	736	97	225	34	6	10	9	8	8	5	15	28	445	1,181
	南部地域	62	124	685	871	144	327	28	11	18	33	12	12	3	4	41	633	1,504
	総計	950	736	825	2,511	546	732	119	28	44	62	39	32	11	30	111	1,754	4,265

3地域のどこへ引っ越したか		前住地（転居）				前住地（転入(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転入(大阪通勤圏)	
転居後	東部地域	84	10	4	36	56	25	48	39	36	32	49	38	27	37	38	39	37
	中部地域	9	73	13	29	18	31	29	21	23	15	21	25	45	50	25	25	28
	南部地域	7	17	83	35	26	45	24	39	41	53	31	38	27	13	37	36	35
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（3地域の中で選ばれた割合が高い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（3地域の中で選ばれた割合が低い）を表しています。

転居・転入（大阪通勤圏）の引っ越し先

転居・転入先の変化 (2014-16→2017-19)

市内転居と北河内、大阪市からの転入 **増加**
 転居・転入先を選ぶ傾向 **変化なし**

2014~2016		前住地（転居）				前住地（転入(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転入(大阪通勤圏)	
転居後	東部地域	83	9	3	36	58	24	47	13	42	37	33	23	13	43	39	38	37
	中部地域	10	78	13	31	17	32	33	40	16	23	13	31	63	57	32	27	29
	南部地域	7	13	83	33	25	44	20	47	42	40	53	46	25	0	29	35	34
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
移動数		453	331	364	1,148	243	352	55	15	19	35	15	13	8	14	56	825	1,973

2017~2019		前住地（転居）				前住地（転入(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転入(大阪通勤圏)	
転居後	東部地域	86	11	4	36	54	25	48	69	32	26	58	47	67	31	36	39	37
	中部地域	8	69	13	28	18	30	25	0	28	4	25	21	0	44	18	24	26
	南部地域	6	20	83	36	28	45	27	31	40	70	17	32	33	25	45	37	37
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
移動数		497	405	461	1,363	303	380	64	13	25	27	24	19	3	16	55	929	2,292
移動数の差		44	74	97	215	60	28	9	-2	6	-8	9	6	-5	2	-1	104	319

表中の「移動数の差」は、2017~2019の移動数から2014~2016の移動数を引いた値です。

転居・転入（大阪通勤圏）の引っ越し先

転居・転入
(大阪通勤圏)
(2014~2019)



錦小、よつば小、寺方南小、転居・転入が多い
守口小、さくら小
(他地域・市外から流入)

		前住地（転居）				前住地（転入(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転入(大阪通勤圏)	
東部地域	佐太小	88	11	2	101	28	23	10	2	1	1	1	2	1	3	72	173	
	金田小	128	7	4	139	35	22	8		2	1	5		2		75	214	
	よつば小	223	21	10	254	113	28	12	3	6	6	6	4	1		11	190	444
	藤田小	126	6	3	135	40	32	5	3		4	1	3	1	3	11	103	238
	梶小	188	17	7	212	67	42	18	2	5	4	5	2		4	12	161	373
	庭窪小	48	11	4	63	22	33	4	1	2	4	1	1	1	1	5	75	138
中部地域	八雲小	31	113	16	160	25	43	8			3	2		1	3	1	86	246
	八雲東小	22	73	4	99	23	37	5	1	1	2		2	1	3	4	79	178
	下島小	9	98	12	119	14	21	4	1	6	2	3	1	1	3	5	61	180
	守口小	13	205	39	257	28	77	11	4	3		3	4	2	3	17	152	409
	守口小/さつき学園	12	49	37	98	7	42	6			2		1		3	1	62	160
	守口小/太子橋小/さつき学園		1	2	3		5										5	8
南部地域	さつき学園	15	33	76	124	17	45		4	3	3	1				6	79	203
	さくら小	14	45	187	246	45	73	8	2	7	3	5	7		1	8	159	405
	さくら小/寺方南小	2	5	9	16	3						1					4	20
	寺方南小	16	22	187	225	35	103	10	5	2	9	2	1	2	2	11	182	407
	錦小	15	19	226	260	44	106	10		6	18	3	4	1	1	16	209	469
合計		950	736	825	2,511	546	732	119	28	44	62	39	32	11	30	111	1,754	4,265

25 表中の「緑色」のセルは比較的大きな数値（移動が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（移動が少ない）を表しています。

転居・転入（大阪通勤圏）の引っ越し先

		移動数の差（2014~16 → 2017~19）					
		東部地域	中部地域	南部地域	転居合計	転入（大阪通勤圏）	合計
東部地域	佐太小	0	-5	0	-5	-8	-13
	金田小	32	3	-2	33	13	46
	よつば小	7	3	4	14	30	44
	藤田小	-14	0	1	-13	5	-8
	梶小	10	9	5	24	7	31
	庭窪小	14	3	-2	15	3	18
中部地域	八雲小	-3	-9	14	2	4	6
	八雲東小	-6	-3	-4	-13	-21	-34
	下島小	-1	-10	4	-7	-1	-8
	守口小	-7	31	-5	19	-4	15
	守口小／さつき学園	12	13	5	30	24	54
	守口小／太子橋小／さつき学園	0	-1	-2	-3	-5	-8
南部地域	さつき学園	-7	3	0	-4	15	11
	さくら小	-4	27	43	66	31	97
	さくら小／寺方南小	2	5	1	8	-4	4
	寺方南小	6	12	39	57	12	69
	錦小	3	-7	-4	-8	3	-5
合計		44	74	97	215	104	319

**2014~2016と
2017~2019での
転居・転入先の変化**
(大阪通勤圏)

転居・転入が増加

さくら小、寺方南小、
守口小／さつき学園

転居・転入が減少

八雲東小

表中の「移動数の差」は、2017~2019の移動数から2014~2016の移動数を引いた値です。

転居・転出（大阪通勤圏）の引っ越し先

2014~2019年度		現住地					合計
		転居	転出（大阪通勤圏）			合計	
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居前	東部地域	950	801	87	62	621	1,571
	中部地域	736	73	539	124	482	1,218
	南部地域	825	30	110	685	532	1,357
	合計	2,511	904	736	871	1,635	4,146

どこへ引っ越したか		現住地					合計
		転居	転出（大阪通勤圏）			合計	
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居前	東部地域	60	51	6	4	40	100
	中部地域	60	6	44	10	40	100
	南部地域	61	2	8	50	39	100
	合計	61	22	18	21	39	100

3地域のどこから引っ越したか		現住地					合計
		転居	転出（大阪通勤圏）			合計	
			東部地域	中部地域	南部地域		
転居前	東部地域	38	89	12	7	38	38
	中部地域	29	8	73	14	29	29
	南部地域	33	3	15	79	33	33
	合計	100	100	100	100	100	100

どこへ引っ越したか



5割：同じ地域
1割：その他市内
4割：市外

市外へは、3地域のどこから引っ越したか



東部地域：38%
中部地域：29%
南部地域：33%

転居・転出（大阪通勤圏）の引っ越し先

市外への転出元
(2014~2019)



北河内、三島 東部からの移動が多い
大阪市 南部からの移動が多い

		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）											合計	
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏		転出(大阪通勤圏)
転居前	東部地域	801	87	62	950	273	99	62	40	6	27	21	12	11	8	62	621	1,571
	中部地域	73	539	124	736	90	144	53	39	9	18	34	11	8	7	69	482	1,218
	南部地域	30	110	685	825	184	167	31	31	10	20	14	14	8	10	43	532	1,357
	合計	904	736	871	2,511	547	410	146	110	25	65	69	37	27	25	174	1,635	4,146

3地域のどこから引っ越したか		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）											合計	
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏		転出(大阪通勤圏)
転居前	東部地域	89	12	7	38	50	24	42	36	24	42	30	32	41	32	36	38	38
	中部地域	8	73	14	29	16	35	36	35	36	28	49	30	30	28	40	29	29
	南部地域	3	15	79	33	34	41	21	28	40	31	20	38	30	40	25	33	33
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表中の「赤色」のセルは比較的大きな数値（3地域の中で転出した割合が高い）、「緑色」のセルは比較的小さな数値（3地域の中で転出した割合が低い）を表しています。

転居・転出（大阪通勤圏）の引っ越し先

転居・転出先の変化 (2014-16→2017-19)

市内転居 **増加** 北河内、大阪市への転出 **減少**
 転居先・転出先を選ぶ傾向 変化なし

2014~2016		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転出(大阪通勤圏)	
転居前	東部地域	83	9	3	36	51	23	43	43	22	58	48	37	40	33	34	40	38
	中部地域	10	78	13	31	18	36	37	30	39	12	39	21	35	17	38	28	30
	南部地域	7	13	83	33	31	41	21	26	39	31	13	42	25	50	28	32	32
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
移動数		453	331	364	1,148	315	216	82	53	18	26	31	19	20	18	90	888	2,036

2017~2019		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転出(大阪通勤圏)	
転居前	東部地域	87	11	6	36	48	25	42	30	29	31	16	28	43	29	37	36	36
	中部地域	9	73	17	30	14	35	36	40	29	38	58	39	14	57	42	31	30
	南部地域	4	16	77	34	38	40	22	30	43	31	26	33	43	14	21	33	34
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
移動数		486	382	495	1,363	232	194	64	57	7	39	38	18	7	7	84	747	2,110
移動数の差		33	51	131	215	-83	-22	-18	4	-11	13	7	-1	-13	-11	-6	-141	74

表中の「移動数の差」は、2017~2019の移動数から2014~2016の移動数を引いた値です。

転居・転出（大阪通勤圏）の引っ越し先

転居・転出
（大阪通勤圏）
（2014～2019）



**寺方南小、よつば小、
守口小、梶小、錦小**

転居・転出が多い
（他地域・市外へ流出している）

		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転出(大阪通勤圏)	
東部地域	佐太小	86	7	9	102	25	12	4	1	2	4	3				5	56	158
	金田小	107	11	3	121	24	21	4	6		2	2		2		5	66	187
	よつば小	228	15	13	256	101	13	16	10	2	11	8	5		4	17	187	443
	藤田小	100	5	7	112	49	10	5	3		1	2		3	1	8	82	194
	梶小	183	20	15	218	46	20	18	11	1	6		4	3	3	18	130	348
	庭窪小	97	29	15	141	28	23	15	9	1	3	6	3	3		9	100	241
中部地域	八雲小	20	98	13	131	21	19	7	4	1	5	14	2	1		7	81	212
	八雲東小	21	78	12	111	23	34	9	11	1	6	4	2	5		23	118	229
	下島小	10	135	18	163	13	33	16	7	2	2	8		1	1	7	90	253
	守口小	18	199	54	271	30	43	16	13	3	4	5	6	1	6	26	153	424
	守口小／さつき学園	4	28	24	56	3	11	5	3	1	1	1	1			6	32	88
	守口小／太子橋小／さつき学園		1	3	4		4		1	1		2					8	12
南部地域	さつき学園	3	48	86	137	18	43	4	5	2	4	1	4	2	5	11	99	236
	さつき学園／太子橋小			1	1												0	1
	さくら小	6	19	165	190	40	24	9	5	4	3	3	3	3	2	8	104	294
	さくら小／寺方南小			18	18	1	1					1				1	4	22
	錦小	8	23	141	172	45	55	8	12	1	7	3	4	1		14	150	322
	寺方南小	13	20	274	307	80	44	10	9	3	6	6	3	2	3	9	175	482
合計		904	736	871	2,511	547	410	146	110	25	65	69	37	27	25	174	1,635	4,146

³⁰ 表中の「赤色」のセルは比較的大きな数値（転出が多い）、「緑色」のセルは比較的小さな数値（転出が少ない）を表しています。

転居・転出（大阪通勤圏）の引っ越し先

		移動数の差（2014~16 → 2017~19）					
		東部地域	中部地域	南部地域	転居合計	転出（大阪通勤圏）	合計
東部地域	佐太小	6	3	5	14	-10	4
	金田小	15	-5	1	11	-16	-5
	よつば小	-10	-3	-9	-22	-17	-39
	藤田小	18	-1	3	20	-4	16
	梶小	-1	-8	-5	-14	-14	-28
	庭窪小	21	9	5	35	-28	7
中部地域	八雲小	2	6	-1	7	-7	0
	八雲東小	9	2	2	13	-2	11
	下島小	-2	9	14	21	0	21
	守口小	4	3	26	33	-1	32
	守口小／さつき学園	0	0	-2	-2	-6	-8
	守口小／太子橋小／さつき学園	0	1	1	2	-2	0
南部地域	さつき学園	1	8	8	17	-31	-14
	さつき学園／太子橋小	0	0	-1	-1	0	-1
	さくら小	4	-3	17	18	-14	4
	さくら小／寺方南小	0	0	0	0	-2	-2
	寺方南小	0	9	47	56	10	66
	錦小	1	-2	8	7	3	10
合計		68	28	119	215	-141	74

**2014~2016と
2017~2019での
転居・転出先の変化**
(大阪通勤圏)

転居・転出が**増加**



寺方南小、守口小

転居・転出が**減少**



よつば小、梶小

表中の「移動数の差」は、2017~2019の移動数から2014~2016の移動数を引いた値です。

転居・転出入（大阪通勤圏）の移動先（まとめ）

子ども（0～5歳児）

市内転居・大阪通勤圏での転出入

移動先の特徴

市内転居	同じ地域内の転居が多い
転出入	東部 ▶ 北河内、三島 との転出入が多い
	南部 ▶ 大阪市 との転出入が多い

転出入件数の特徴

2014～16に比べて2017～19は
北河内、大阪市 ▶ 転入が**増加**、転出が**減少**

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析

子ども（0～5歳児） 市内転居・大阪通勤圏での転出入

		市外転出入（大阪通勤圏）		
		減少 （20人以上減少）	増減少ない	増加 （20人以上増加）
市内 転出入 （転居）	増加 （20人以上増加）			
	増減少ない			
	減少 （20人以上減少）			

転出入状況をもとに18エリアを分類

統合分析の視点



転居を
市内転入と
市内転出に分類



市内転出入
市外転出入
の2軸で分析

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析

子ども（0～5歳児）市内転居・大阪通勤圏での転出入

市内転出入
市外転出入

東部・中部から南部への移動傾向が強まる
東部・南部の転入超過が増加傾向

2014~16	転居・転入（前住地）						
	転居（市内転入）				転入 （大阪通 勤圏）	転居 ・転入 合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	418	376	30	12	313	731	
中部地域	354	46	259	49	224	578	
南部地域	376	31	42	303	288	664	
合計	1,148	453	331	364	825	1,973	

2014~16	転居・転出（現住地）						
	転居（市内転出）				転出 （大阪通 勤圏）	転居 ・転出 合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	453	376	46	31	355	808	
中部地域	331	30	259	42	250	581	
南部地域	364	12	49	303	283	647	
合計	1,148	418	354	376	888	2,036	

2014~16	移動数の差						
	転居（市内転出入）				転出入 （大阪通 勤圏）	合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	-35	0	-16	-19	-42	-77	
中部地域	23	16	0	7	-26	-3	
南部地域	12	19	-7	0	5	17	
合計	0	35	-23	-12	-63	-63	

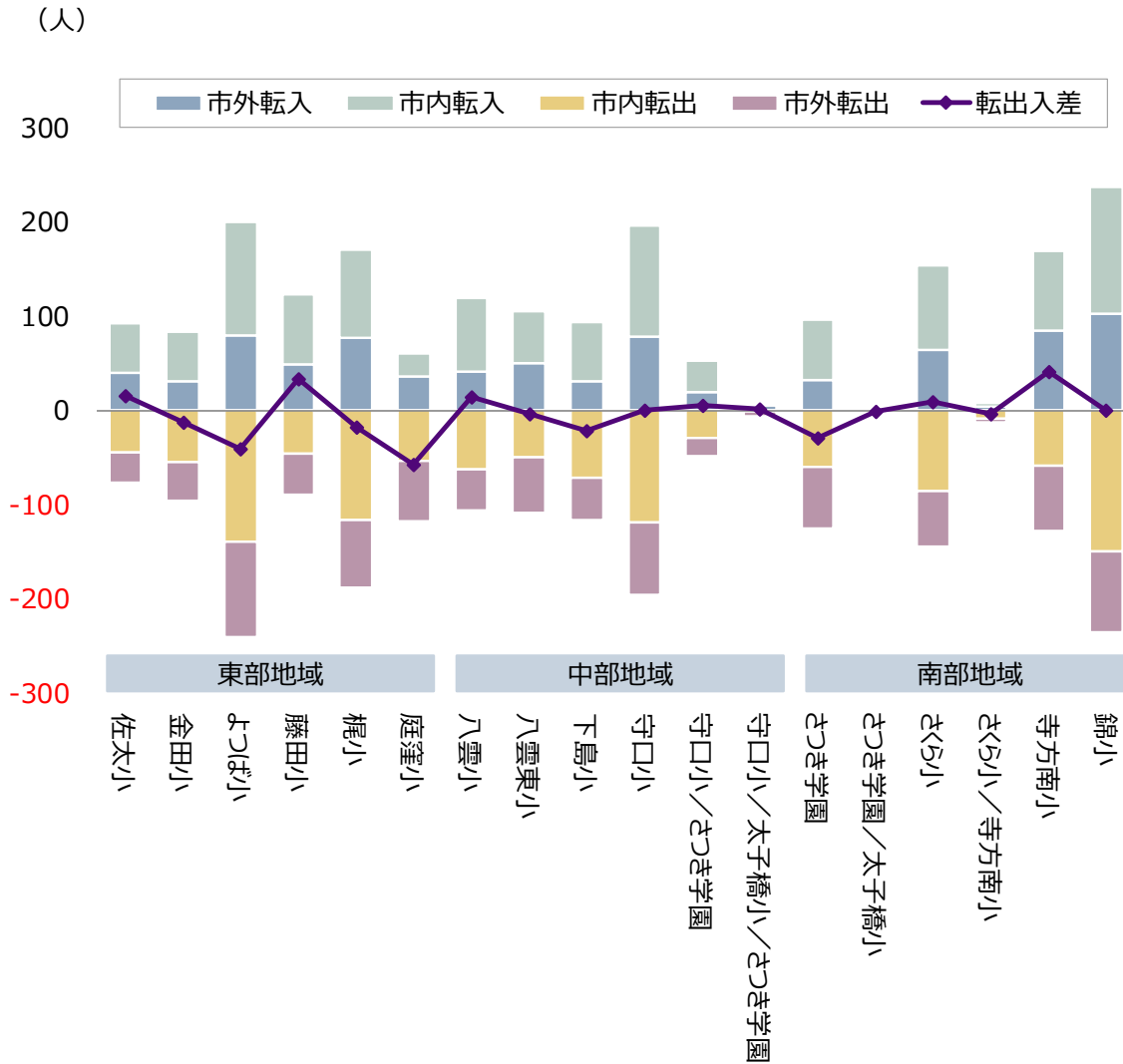
2017~19	転居・転入（前住地）						
	転居（市内転入）				転入 （大阪通 勤圏）	転居 ・転入 合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	486	425	43	18	363	849	
中部地域	382	41	280	61	221	603	
南部地域	495	31	82	382	345	840	
合計	1,363	497	405	461	929	2,292	

2017~19	転居・転出（現住地）						
	転居（市内転出）				転出 （大阪通 勤圏）	転居 ・転出 合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	497	425	41	31	266	763	
中部地域	405	43	280	82	232	637	
南部地域	461	18	61	382	249	710	
合計	1,363	486	382	495	747	2,110	

2017~19	移動数の差						
	転居（市内転出入）				転出入 （大阪通 勤圏）	合計	
	東部 地域	中部 地域	南部 地域				
東部地域	-11	0	2	-13	97	86	
中部地域	-23	-2	0	-21	-11	-34	
南部地域	34	13	21	0	96	130	
合計	0	11	23	-34	182	182	

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析

2014～2016の転出入（市内・市外）の状況



転入超過

藤田小、寺方南小
(市外転入が寄与)

転出超過

庭窪小
(市内・市外転出が要因)

よつば小
(市内転出が要因)

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析

2017～2019の転出入（市内・市外）の状況



転入超過

さくら小

守口小/さつき学園
(市内転入・市外転入が寄与)

転出超過

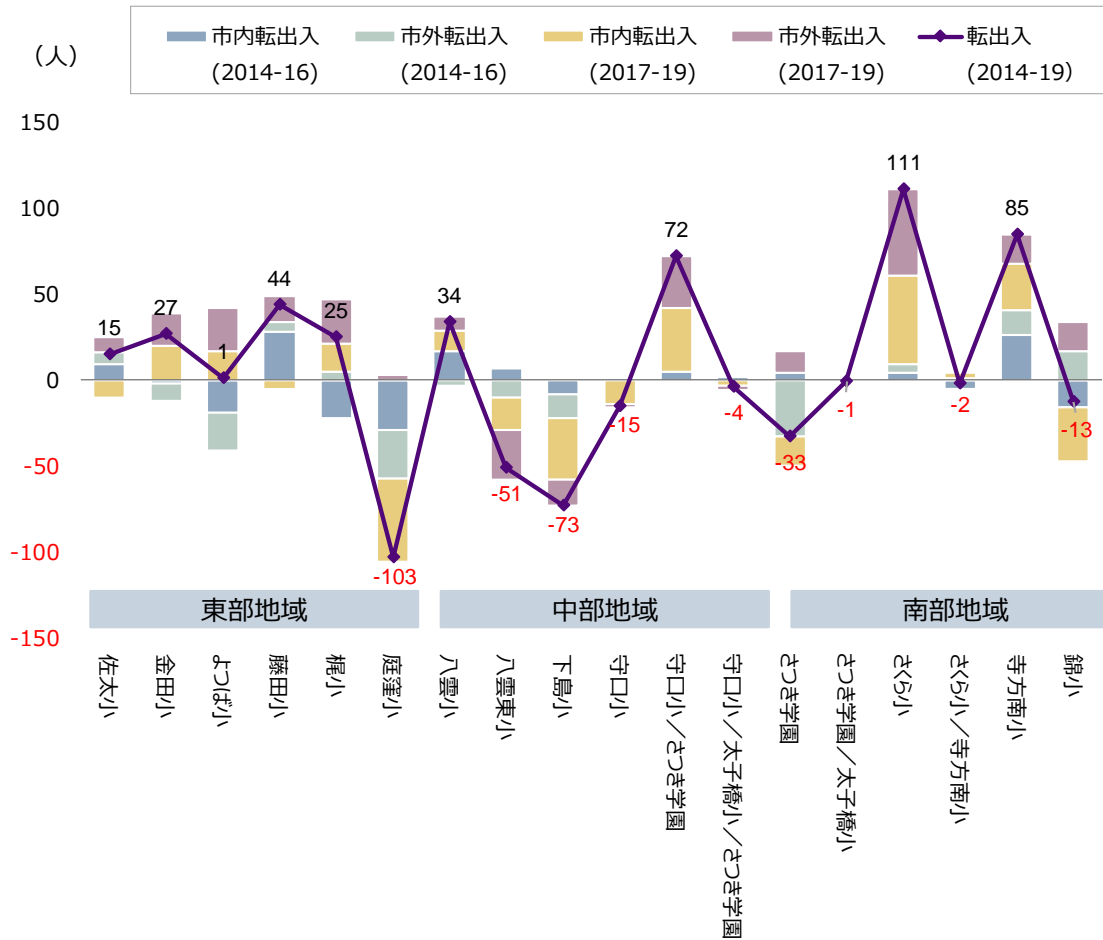
下島小、庭窪小
(市外転出が要因)

八雲東小

(市内転出が要因)

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析

2017～2019の転出入（市内・市外）の状況



転入超過(50人以上)



さくら小
寺方南小
守口小/さつき学園

転出超過(50人以上)



庭窪小
下島小
八雲東小

転居・転出入（大阪通勤圏）の統合分析（まとめ）

子ども（0～5歳児）

市内・市外転出入とも増加 5エリア

市内転居・大阪通勤圏での転出入

市内・市外転出入とも減少 2エリア

2017～2019の転出入（市内・市外）の状況

		市外転出入（大阪通勤圏）		
		減少 (20人以上減少)	増減少ない	増加 (20人以上増加)
市内 転 出 入 （ 転 居 ）	増加 (20人以上増加)			藤田小 八雲小 守口小 / さつき学園 さくら小 寺方南小
	増減少ない	よつば小 八雲東小 さつき学園	金田小 守口小 守口小 / 太子橋小 / さつき学園 さつき学園 / 太子橋小 さくら小 / 寺方南小	佐太小 梶小
	減少 (20人以上減少)	庭窪小 下島小	錦小	

5歳児の転居・転出入の状況

子ども（5歳児）

市内転居・大阪通勤圏での転出入

北河内、三島への転出超過
豊能への転出超過

減少傾向
増加傾向

2017～2019の転出入（市内・市外）の状況

		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転出(大阪通勤圏)	
2014-2016	東部地域	0	0	0	0	-9	-1	-4	0	1	0	-1	1	-1	2	-1	-13	-13
	中部地域	0	0	2	2	-6	-7	-4	-3	-1	-1	0	0	-1	-1	-2	-26	-24
	南部地域	0	-2	0	-2	-7	3	-2	0	0	4	0	1	-1	-2	-1	-5	-7
	合計	0	-2	2	0	-22	-5	-10	-3	0	3	-1	2	-3	-1	-4	-44	-44
2017-2019	東部地域	0	1	-4	-3	-5	-3	-4	-4	1	-3	2	1	-1	0	-4	-20	-23
	中部地域	-1	0	-8	-9	-3	-9	0	-5	2	-2	-2	0	0	1	-3	-21	-30
	南部地域	4	8	0	12	-2	4	0	-6	0	-3	1	1	0	1	1	-3	9
	合計	3	9	-12	0	-10	-8	-4	-15	3	-8	1	2	-1	2	-6	-44	-44
2014-2019	東部地域	0	1	-4	-3	-14	-4	-8	-4	2	-3	1	2	-2	2	-5	-33	-36
	中部地域	-1	0	-6	-7	-9	-16	-4	-8	1	-3	-2	0	-1	0	-5	-47	-54
	南部地域	4	6	0	10	-9	7	-2	-6	0	1	1	2	-1	-1	0	-8	2
	合計	3	7	-10	0	-32	-13	-14	-18	3	-5	0	4	-4	1	-10	-88	-88

表中の数字は、転入（市内転入+市外からの転入）と転出(市内転出+市外への転出)の差を表しています。表「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出が多い）を表しています。

5歳児の転居・転出入の状況

5歳児 2014～2016の転出入（市内・市外）の状況 北河内への転出超過 最も多い

		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計	
		東部 地域	中部 地域	南部 地域	転居	北河内 地域	大阪市 地域	三島 地域	豊能 地域	堺市 地域	中河内 地域	その他 大阪府	阪神南 地域	阪神北 地域	神戸 地域	その他 大阪 通勤圏	転出 (大阪通 勤圏)		
東部地域	佐太小	-2	-2	0	-4	-3	0	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-3	-7
	金田小	0	0	1	1	-1	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0
	よつば小	3	1	0	4	-3	2	0	0	1	0	-1	1	0	-1	-1	-1	-2	2
	藤田小	0	2	0	2	-4	-2	-2	0	0	1	0	0	-1	2	1	-5	-3	
	梶小	0	-1	-2	-3	3	-1	0	0	0	-1	1	0	0	1	-1	2	-1	
	庭窪小	-1	0	1	0	-1	1	-2	-1	0	0	-1	0	0	0	0	-4	-4	
中部地域	八雲小	4	1	0	5	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4	1	
	八雲東小	-1	0	-1	-2	0	-2	-1	-2	-1	0	0	0	-1	0	-1	-8	-10	
	下島小	-2	-1	1	-2	-1	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-4	-6	
	守口小	0	1	3	4	-1	-2	-1	-1	0	-1	0	0	0	-1	-1	-8	-4	
	守口小／さつき学園	-1	-1	-1	-3	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-5	
	守口小／太子橋小／さつき学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南部地域	さつき学園	2	0	1	3	1	-1	0	0	0	1	0	0	0	-1	0	0	3	
	さつき学園／太子橋小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	さくら小	1	0	-7	-6	-3	1	-2	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	-7	-13	
	さくら小／寺方南小	0	0	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	
	寺方南小	-1	0	8	7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	-1	1	8	
	錦小	-2	-2	0	-4	-5	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	-3	
	合計	0	-2	2	0	-22	-5	-10	-3	0	3	-1	2	-3	-1	-4	-44	-44	

表中の数字は、転入（市内転入+市外からの転入）と転出(市内転出+市外への転出)の差を表しています。表「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出が多い）を表しています。

5歳児の転居・転出入の状況

5歳児 2017～2019の転出入（市内・市外）の状況 豊能への転出超過 最も多い

		現住地（転居）				現住地（転出(大阪通勤圏)）												合計
		東部地域	中部地域	南部地域	転居	北河内地域	大阪市地域	三島地域	豊能地域	堺市地域	中河内地域	その他大阪府	阪神南地域	阪神北地域	神戸地域	その他大阪通勤圏	転出(大阪通勤圏)	
東部地域	佐太小	0	-1	0	-1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-1	1	0
	金田小	3	1	0	4	0	-1	0	-2	0	0	1	0	0	0	0	-2	2
	よつば小	3	0	0	3	0	1	-4	-1	1	-1	1	1	0	0	0	-2	1
	藤田小	-1	-1	-2	-4	-1	-2	-1	0	0	-1	0	0	-1	0	-1	-7	-11
	梶小	-2	1	-2	-3	-5	-1	1	0	0	-1	0	-1	0	0	-2	-9	-12
	庭窪小	-3	1	0	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	-3
中部地域	八雲小	0	-1	-1	-2	1	-1	0	-1	0	0	-1	0	0	0	0	-2	-4
	八雲東小	-3	0	0	-3	-4	-4	-1	-1	1	-2	0	0	0	0	0	-11	-14
	下島小	1	-3	-1	-3	-1	-4	-1	-2	0	0	-1	0	0	0	0	-9	-12
	守口小	-1	3	-5	-3	1	-2	0	0	1	0	0	0	0	0	-2	-2	-5
	守口小／さつき学園	2	1	0	3	0	2	2	-1	0	0	0	0	0	1	-1	3	6
	守口小／太子橋小／さつき学園	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
南部地域	さつき学園	0	2	2	4	2	1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	1	2	6
	さつき学園／太子橋小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	さくら小	0	6	-2	4	0	3	0	-1	0	-1	1	0	0	0	0	2	6
	さくら小／寺方南小	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
	寺方南小	3	-1	6	8	2	0	-1	-3	0	-1	0	0	0	1	0	-2	6
	錦小	1	1	-5	-3	-6	0	1	-1	0	0	0	1	0	0	0	-5	-8
	合計	3	9	-12	0	-10	-8	-4	-15	3	-8	1	2	-1	2	-6	-44	-44

表中の数字は、転入（市内転入+市外からの転入）と転出(市内転出+市外への転出)の差を表しています。表「緑色」のセルは比較的大きな数値（転入が多い）、「赤色」のセルは比較的小さな数値（転出が多い）を表しています。

子どもの転出入状況の分析（まとめ）

● 守口市全体

子ども（0～5歳児）の転出入

2017年度に転入超過に転じる

◀ 0歳児の転入増加、0歳児の転出減少

（参考）2017年度から本市独自の「幼児教育・保育の無償化」を開始

● 転出入（大阪通勤圏）

大阪市地域 転入（0～2歳）が大きい

北河内地域 2017年度に転入超過に転じた

5歳児 多くの地域（北河内、大阪市、三島、豊能）で転出超過

● 18エリア別での転居・転出入

南部地域のさくら小、寺方南小通学エリア 転入超過

庭窪小、下島小、八雲東小通学エリア 転出超過

● 5歳児の転居・転出入

北河内地域、三島地域 転出超過が減少

豊能地域 転出超過が増加

子どもの転出入状況の分析から見える課題

本市独自の「幼児教育・保育の無償化」(2017年度開始)と同じ頃から0-2歳児の転入が増加

国よる「幼児教育・保育の無償化」(2019年10月)が開始された。**守口市施策の独自部分(0-2歳無償)を伝えていくことが必要**である。

5歳児について、北河内地域、三島地域からの転出超過は減少しているが、**豊能地域への転出超過が増加**している。

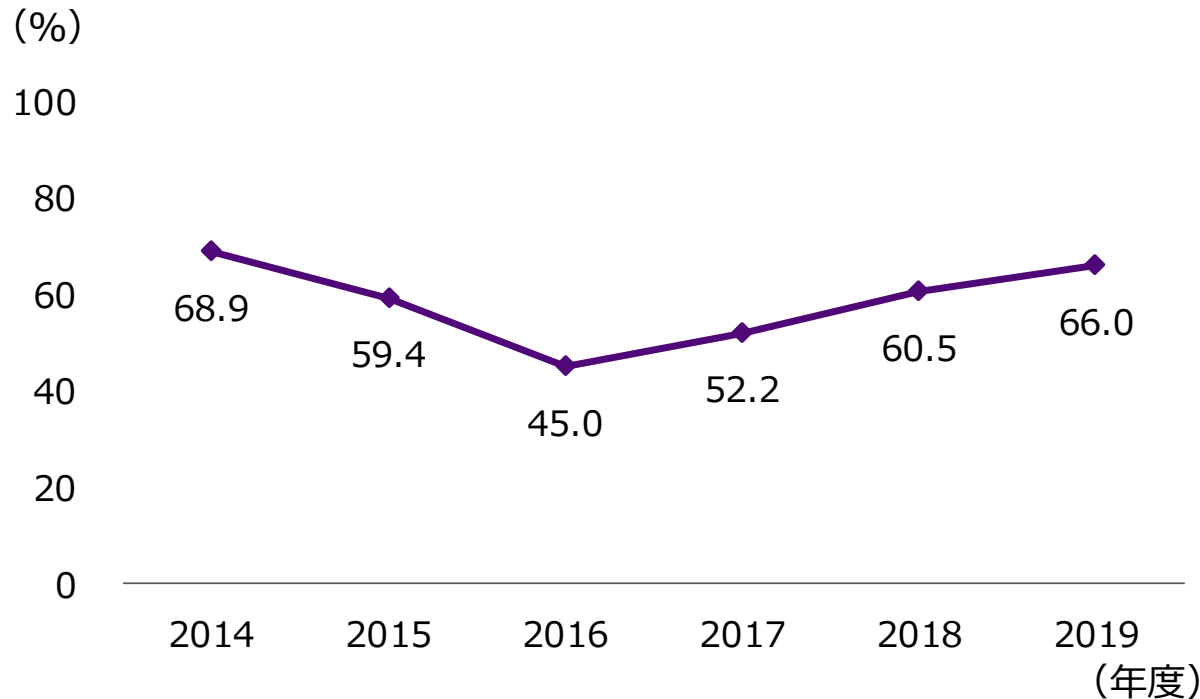
長子が小学校に入学する前(5歳)に住まいを移す場合、再び守口(=市内転居)を選ぶ割合を高めしていくための取り組みが必要である。

統合校の通学エリア(さつき学園、さくら小、寺方南小)で**市内転居や市外から転入が増加**

統合校の整備が、新たな住宅供給や新たな住まいを選ぶ場所の選択に影響していることが想定される。**転出超過となっている地域において、取組の必要性について検討することが必要**である。

守口市内での転居を選ぶ割合（5歳児）

引っ越した5歳児のうち、市内転居した割合



「大阪通勤圏」とは、大阪市へ鉄道を用いて概ね1時間で通勤できるエリア
(具体的な市町村名は12ページに掲載)

子ども（5歳児）
市内転居
or
大阪通勤圏への転出
の選択状況

市内転居の選択率
上昇傾向

「再び守口」を選ぶ
割合が上昇